

分野	専門基礎分野 ー疾病の成り立ちと回復の促進ー	対象学年	1
		時期	後期
授業科目	病態生理学総論 Pathophysiology Generality	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	人間を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に対する観察力、判断力を養うために、疾病の成り立ちについて学ぶ。総論では、疾病による身体の変化について概略を学ぶ。		
目標	1. 身体の機能障害のメカニズムについて理解する。 2. 各異常によっておこる症候を理解する。 3. それぞれの病態を把握する方法を理解する。 4. 機能障害がもたらす身体内部の変化や特性について理解する。 5. 機能障害がもたらす身体内部の変化や特性に対しての医療について理解する。		
評価方法	終講試験 100 点		
使用テキスト			
参考図書			
メッセージ	機能障害がもたらす身体内部の変化や特性について学び、看護場面で活用できるようにしましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	病理・病因論	病理と病因論について学ぶ	病理とは 病因論（外因・内因）	講義	
2		病因論に関連した例題を知る	病因論に関連した例	講義	
3	先天異常	先天性異常について学ぶ	先天異常	講義	
4	退行性病変	退行性病変について学ぶ	退行性病変（萎縮・代謝障害・局所の死）	講義	
5	進行性病変	進行性病変について学ぶ	進行性病変（肥大・過形成・再生・化生・ 創傷治癒・器質化・移植）	講義	
6	循環障害	循環障害について学ぶ	循環障害 1	講義	
7			循環障害 2	講義	
8	炎症と免疫	炎症・免疫について学ぶ	炎症とアレルギー	講義	
9			炎症と免疫 1（非特異性・特異性）	講義	
10			炎症と免疫 2（ビデオ）	講義	
11	奇形	奇形について学ぶ	奇形	講義	
12	腫瘍	腫瘍について学ぶ	腫瘍 1	講義	
13			腫瘍 2	講義	
14	病態生理学のまとめ	病態生理学総論に関連する国家試験問題の傾向を知り対策ができる	国家試験問題の傾向と対策 1	講義	
15			終講試験		